

原発災害 「復興」の影

■取り除く⑨

く線量が20ミリシーベルト以上の地域を縮小すること、長期的に年間1ミリシーベルト以下を目指すことを除染の目標としている。一方、村は2011（平成23）年12月、除染目標を独自に「年間5ミリシーベルト以下」に定めた。毎時1ミリシーベルトに相

対し、政府は年間1ミリシーベルトを「放射線防護を効果的に進めるための目安」と位置付けており、達成すべき具体的な目標とは異なる。国はこれ

を「国の意思に任せられない」。村の担当者は独自に目標を設けた背景を語る。政府は年間1ミリシーベルトを「放射線防護を効果的に進めるための目安」と位置付けており、達成すべき具体的な目標とは異なる。国はこれ

ではないと、さらに説明に努力すべき」との政府への助言を公表している。政府が曖昧なままにしていないのは目標だけではない。除染の対象についても同様だ。南相馬市に避難

を語る。一日も早い帰村を黒は、村ではなく国家的除染の目標、範すべきだと考える。

曖昧な国の除染目標

「1ミリシーベルト」あくまで目安

「国が『1ミリシーベルト以下を目指す』と言っているのに、村が独自に『5ミリ以下を目指す』と言っても、放射線量が下げられないから妥協している」としか受け取れない。国の統一的な基準でなければ、従えない」。福島市に避難する飯館村伊丹沢の目黒正光(70)は、村が独自に設定した除染目標への疑問を隠さない。

政府は、年間の追加被ばく線量が20ミリシーベルト以上の地域を縮小すること、長期的に年間1ミリシーベルト以下を目指すことを除染の目標としている。一方、村は2011（平成23）年12月、除染目標を独自に「年間5ミリシーベルト以下」に定めた。毎時1ミリシーベルトに相

対し、政府は年間1ミリシーベルトを「放射線防護を効果的に進めるための目安」と位置付けており、達成すべき具体的な目標とは異なる。国はこれ

を「国の意思に任せられない」。村の担当者は独自に目標を設けた背景を語る。政府は年間1ミリシーベルトを「放射線防護を効果的に進めるための目安」と位置付けており、達成すべき具体的な目標とは異なる。国はこれ

ではないと、さらに説明に努力すべき」との政府への助言を公表している。政府が曖昧なままにしていないのは目標だけではない。除染の対象についても同様だ。南相馬市に避難

を語る。一日も早い帰村を黒は、村ではなく国家的除染の目標、範すべきだと考える。

当する年間の被ばく線量まで、住民が許容できる被ばく線量について議論の場を設け、具体的な除染目標を設定することも検討してきたが、専門家の意見がさまざまなことや、新たな数値を示すことで生じる混乱への懸念から、実現してい

「説明を尽くすくらいはしてほしい」

「説明に努力すべき」

「説明に努力すべき」

「説明に努力すべき」



除染が行われず、自宅の裏山に積もったままの落ち葉を見つめる目黒さん。早期帰村を望むが、村独自の除染目標には疑問を抱いている。飯館村

「説明に努力すべき」

「説明に努力すべき」

「説明に努力すべき」

「説明に努力すべき」

「説明に努力すべき」